

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	教育施設小委員会		主 査 名：山口 勝巳 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)		委員長名：大原 一興 主 査 名：広田 直行
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施設に関する情報収集・研究を継続的に行い、テーマを選定してシンポジウム・研究会等を実施する。 ・ 研究者・設計者の交流・研究討議の場、若手研究者育成の場を設ける。 ・ 教育施設計画の最新動向について情報発信を行う。 ・ 学校体系の変化に対応した学校建築計画検討 WG を設置し研究を進める。 <p>活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開研究会、シンポジウム等のテーマについて検討し、開催準備を行う。 ・ 最新事例および歴史的学校建築の施設見学会を実施する。 ・ 博士取得論文の公開発表会、若手研究者発表会等の若手研究者の育成と情報交換・研究交流促進を目的としたものを開催する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：山口勝巳 (東京都市大) 幹事：垣野義典 (東京理科大)、倉斗綾子 (千葉工大) 委員：梅野勇 (香山壽夫建築研究所)、川島智生 (京都華頂大)、小泉治 (日本設計)、戸張秀隆 (梓設計)、藤原直子 (九州大学)、宮本文人 (東工大)、梅林 (広島国際大)、八木真爾 (佐藤総合計画)、柳澤要 (千葉大)、横山俊祐 (大阪市大)、笠井尚 (中部大)、高橋政志 (石本建築事務所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>学校体系の変化に対応した学校建築計画検討 WG</p> <p>近年学校を取り巻く重要かつ喫緊の課題は、山積し残されたままである。本 WG では、こういった学校体系の変化に如何に対応してゆくべきか、大いに危機感をもって情報収集と蓄積、対応策の検討をすすめ、その結果をもとに公開研究会を開催し社会貢献を図る。</p>		
2016 年度予算	135,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/j-000/j200-12/j220-12.html</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	「オーラルヒストリーに読む戦後学校建築 —いかにして学校は計画されてきたか」(2017 年 3 月発行予定)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催回数は最小限にとどめたが、開催時には計4人の委員より研究発表や最新事例の報告が行われ、内容の濃い議論や情報交換ができた。 2. 公開研究会のテーマについて検討を進め、いくつかのテーマを設定することができた。今年度中の開催には至らなかったが準備を進めることができた。 3. 1回の施設見学会が開催できた。 4. 前年度以前からの継続であるが、ここ数年にわたって進めてきた刊行物を今年度中に出版できることになった。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国内外の教育施設を対象とする小委員会であるため、全国から委員を集める必要があると考えるが、委員会予算では委員招集のための交通費が賅えず、大きな交通費負担をお掛けすることになってしまう。 2. 年々、防犯上、個人情報などの観点から、施設の現地視察を公開型で開催するのは難しくなっている。